

表 アゼルバイジャン、アルメニア、ロシアの3首脳によるナゴルノ・カラバフ紛争停戦合意内容

11月10日午前0時(モスクワ時間)以降、砲撃、その他戦闘行為を停止する。
アルメニアの占領地アグダム地区(アゼルバイジャン南西部)およびガザフ地区(同北西部)をアゼルバイジャンに返還する(11月20日まで)。
ナゴルノ・カラバフ地区の境界線およびラチン回廊(アルメニア本土とナゴルノ・カラバフ地区をつなぐ回廊)にロシア平和維持部隊1,960人、装甲車90台、自動車・特殊車両380台を展開する。
アルメニア軍の撤退とロシア平和維持部隊配備を同時並行で実施。平和維持部隊は5年間駐留。当事者のいずれかが本期間満了6カ月前に駐留停止を申請しない限り、5年間の駐留期間が自動的に延長される。
紛争当事者間の合意履行に向け「停戦管理センター」を設置する。
アルメニアはアゼルバイジャンに対しカリバドジャル地区(アゼルバイジャン西部)を11月15日までに、ラチン地区(同南西部)を12月1日までに返還する。ただし、ナゴルノ・カラバフ地区およびシュシャとアルメニア本土との間の移動確保のためラチン回廊(幅5キロメートル)は現状のままとする。両国の合意に基づき、今後3年以内にラチン回廊の新ルート建設計画を策定する。新ルートにはロシア平和維持部隊が警備のために配備される。アゼルバイジャンはラチン回廊における人、車両、貨物輸送の安全を保障する。
国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)の管理により避難民のナゴルノ・カラバフ地区・同隣接地区への帰還を促す。
捕虜、その他拘束者、遺体を交換する。
本地区における経済・輸送制限を解除する。アルメニアはアゼルバイジャン西部とナヒチェバン地区の間の人、車両、貨物の移動を保障する。輸送路の管理はロシア連邦保安局国境警備隊が実施する。
両国の合意に基づき、アゼルバイジャン本土とナヒチェバン地区をつなぐ新しい輸送路が建設される。

(出所)ロシア大統領府発表(11月10日)を基に作成